

地域づくり 災害対応『命を守る行動』について

センター長 記

3.災害対応『命を守る行動』地域の環境を知る

其の① 北上川の歴史

北上川の河川改修の始まりは、坂上 田村麻呂が宝亀11年(780)から行った舟運を目的とした低水工事といわれています。(今から1200年も前)

その時期すでに原野を切り開いて田畑が耕作され、そのための洪水対策も行われていたようです。 戦国時代が終わり領土が安堵されると、大名は競って新田の開発に取り組みました。それまでの耕地は、取水が行いやすく洪水に対し安全な支川扇状地が中心でしたが、新田開発が進められたことにより、生活の場も徐々に北上川本川の川沿いに移りました。

こうして新田の開発、堤防工事により、生産された米を舟で運搬するための低水工事が一体のものとして実施されるようになりました。

🌸🔍📍 各種講座・教室のご案内 📍🔍🌸

コロナ禍、生活スタイルが変わる時代。浅水ふれあいセンターでは徹底した衛生管理に努め皆様にご協力・ご理解いただきながら、様々な事業を展開しています(登米市の方針に基づき閉館の場合もあります)。どの講座も年の途中からでもお申込みいただけます。「ふれあいセンターだより」や「Facebook」でみて、ご興味いただけましたら、ぜひお問い合わせください🌸

また「〇〇をやってみたい」などご意見もいただければ幸いです。



ご存知でしょうか？ Calbeeポテトチップス🌸

Calbeeのポテトチップスに使用されるジャガイモ。なんと！登米市の水田の転作の一環としてジャガイモを作付けしています。この夏、期間限定で「宮城県産新じゃが使用・焼きのり味」が発売されました！そのパッケージには浅水の新しい農業に取り組む若手生産者がさわやかに登場！うれしいですね😊ポテトチップスを食べて応援しましょう🌸



令和3年度浅水コミュニティ運営協議会 理事会

令和3年9月3日（金）19:00～ 多目的ホール

浅水コミュニティ運営協議会理事16名・センター長・事務局3名 計20名（理事2名欠席）

※緊急事態宣言中の開催につき、多目的ホールを使って十分なソーシャルディスタンスをとり開催いたしました。



●令和3年度4大事業の計画変更について

- 1.浅水ふれあい夏まつり 中止 → 予算は「情報発信事業」に充てる
- 2.浅水ふれあい運動会 中止 → 予算は「北上川堤防決壊『命を守る行動』洪水最大浸水表示板設置する費用に充てる
- 3.浅水コミュニティまつり 内容を見直して実施とする
※ワクチン接種（登米市）9/30で完了10月中旬で接種2週間後、効果が期待される
※例年通りでなく、プロに出演依頼する（各行政区で練習する時間が持てないため）
※「展示館 あげぼの」に地域内外の方の様々な作品を展示し、投票いただく
- 4.自然体験 秋田横手市との交流事業 中止 → 代替事業検討

以上の内容で承認いただきました。

📌🌸浅水コミュニティまつり 趣味の展示会📷🏠

上記にて承認されました通り、『浅水コミュニティまつり』は形を変えて10月24日（日）開催予定となりました。そこで「展示館 あげぼの」にて行われる展示会への作品を広く募集いたします。

コロナ禍、気軽に出かけたり集まったりできない状況は続き、新しい生活様式は当たり前になっていきます。人と会わなくなっていくのではなく「好きなもの・好きなことでつながるコミュニティ」は失ってはいけないもの。この展示会で好きなものの発見・好きなことの継続・会えない中でも繋がりを保ちたい。そんな思いで準備しています。

🌸作品の締め切りは10/14（木）まで



🚌デマンドタクシー無料お試し乗車券使ってみて下さ～い
もっと多くの方にご利用いただきたく、「無料お試し乗車券」を配付させていただきました。ぜひ、お気軽にご利用ください。🚗失った場合は浅水ふれあいセンターにて再発行させていただきます。☎0220-34-2008